

三鴨小だより

学校教育目標

やさしい子 かしい子 たくましい子

第27号

発行日 平成31年3月7日

発行者 三鴨小学校長 廣田 昌英

高め合うみかもっ子

2月25日(月)から「わかれの言葉」の練習が始まりました。卒業証書を授与したあと、卒業生と在校生が最後の言葉を交わす、あの感動イベントの練習です。最初の2日間は1～5年生の在校生のみで行われました。まず、亀田先生から「5年生は最上級生として在校生の見本になるように！」とか、「1年生だけど立派だったと言われるように！」などと余計なプレッシャーが与えられたあと、吉成先生を中心とした呼びかけの練習がよいよ始まりました。そして驚かされました。初日からものすごくみごとなできばえなのです。大きなハキハキした声が体育館中に響きわたりました。きっと各学年とも担任を中心に秘密特訓を積んできたのでしょう。いよいよ卒業生との合同練習を明日に控えた職員室では、「もう明日が本番でも大丈夫だよね！」という声まで聞かれました。みかもっ子、ホントにたいしたもんです。でもこのとき、6年担任の河内先生はつぶやきました。「すごいプレッシャーだ.....」

そして、いよいよ6年生との合同練習が始まりました。21名という、最も人数の少ない学年の6年生にとっては、約160名の在校生との練習はかなりのプレッシャーがかかっているはずなんです。.....見事にそれをはね返し、息の合った、そして完成度の高い声を響かせてくれました。特に、男女に分かれて呼びかける場面では、たった7名しかいない6年女子の音量がとて心配されたのですが、吉成先生をも称賛させる、大きくて透き通った声で私を驚かせてくれました。さすがは三鴨小の6年生です。河内先生もさぞかしホッとしたことでしょう。しかし、全学年とも満足はしてはいけません。もっと見事な「わかれの言葉」を目指して練習を続けています。卒業生の保護者の皆さん、卒業式当日に期待してくださいね。

あ！またプレッシャーかけちゃった？

今日の目的

2月の最終日、この日も2時間目終了後に卒業式の練習が行われました。練習

終了後に体育館から戻る途中、3年生の男の子が私に向かって満面の笑みでこう言いました。「校長先生！あと2時間で揚げパンです！」はあ？もう給食の話かよ？と、あきれた瞬間、すかさず隣にいた金坂先生が「しかも今日はきな粉揚げパンなんです！」.....揚げパンの威力たるや恐るべし！

伝える力

3月初日の卒業式の練習は歌の練習でした。指導の中心は板橋先生です。喉を痛めている最中にもかかわらず、ハスキーボイスで見事な指導をしてくださいました。「みんながそろっていて素晴らしいです。何がそろっているかという、歌い出しはもちろんなのですが、その直前に息を吸い込む音からピッタリ合っていました。これは素晴らしいことです。」とか、「大きく口を開けましょう。どれくらい大きく開くかという、縦に3本そろえた自分の指が口に入るくらいです。」など、とても具体的な指導なんです。これなら子どもたちは迷うことなく、自分たちの何がよかったのか、どうすればもっとうまく歌えるのか、十分に理解できますよね。もちろん、子どもたちはそれに応えてみごとな歌声を響かせてくれました。これからも具体的な指導を続けて、より立派な卒業式を目指していきます。6年生には申し訳ないけど、なにやら卒業式が少し楽しみになってきました。何が楽しみかって？.....具体的にいうと、もちろん、子どもたちの活躍です。

最後の力走？

卒業式全体練習直後の3時間目、6年生が河内先生を交えて校庭中を走り回っていました。子どもたちに「ケイドロ」と呼ばれている遊びでしょうか？そういえば、6年生は4月当初から月に1回くらいのペースで校庭中を走り回っていましたね。きっとクラスで決めたレクリエーションなのでしょう。そしてもしかすると、このメンバーで三鴨小の校庭を走り回るのは最後かもしれませんね。6年生、今日は晴れてよかったね。思う存分走り回っておくれ。ただし、絶対にケガをしませんように....。